循環器内科部長 西 淳一郎

2024年は年間入院患者数が近年では過去最多の1,800件以上(うち半数は急患)となる医療需要 逼迫のなか、全国十傑に数えられる200例以上の急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療も並 行して行いました。新たな医師労働勤務体制の遵守も両立させる必要があるなか、診療チームの 奮闘とコメディカルスタッフの尽力により、なんとか筑豊地域の循環器診療を維持することがで きました。

一方、日進月歩する循環器カテーテル治療の高度化に後れをとらぬよう、不整脈や構造的心疾患をターゲットに最新医療の導入にも力を注いでいます。2024年は、心房細動左心房血栓形成防止のための経皮的的左心耳閉鎖デバイス留置術(Watchman)や従来の手技では根治困難な不整脈に対するカテーテルエタノール注入療法の導入を行いました。また2022年より開始している僧帽弁閉鎖不全症の原因となる閉鎖不全弁に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術(Mitracrip)において、より複雑な逆流のため従来より大きなサイズのクリップを必要とする逆流病態にも対応できるよう、クリップサイズ拡大の認可も取得しました。

2025年も、不整脈カテーテル治療分野における新規治療技術(パルス電場焼灼療法PFA:短いパルスの強い電場により、ターゲット領域の大切な細胞は保護しながら、心筋細胞のみを選択的に不可逆的電気穿孔を生じさせて死滅に導く)をはじめ、目覚ましい医療工学的発達を遂げる循環器最新治療技術を引き続き積極的に導入していけるよう、スタッフ一同日々研鑽を積んでいきたいと思います。

## 「2024年循環器内科診療実績」

総入院数 1,822 件, 急患 846 件 (46%), 死亡数 35 件 (2%),

平均年齢 73.9 歳, 平均在院日数 9.7 日

## 「2024 年疾患別主な入院症例数」

心不全 (DPC 050130) 373 急性心筋梗塞 (DPC 050030) 266 心房細動 262 無症候性心筋虚血 169

## 「心臓カテーテル検査・治療総数 |: 1.689 件

- ○冠動脈造影 659 件
- ○冠動脈インターベンション(PCI):494 件 うち緊急 PCI: 235(48%)
- ○末梢血管インターベンション(EVT):84件
- ○カテーテルアブレーション:320件

心室頻拍 12 心室期外収縮 11 心房細動 262 (うちクライオバルーン 71) 発作性上室性頻拍 19 心房粗動・心房頻拍 69

○デバイス埋め込み術:142件(新規)

永久ペースメーカー埋め込み術 113

埋め込み型除細動器埋め込み術 7

両心室ペースメーカー埋め込み術 13

除細動機能付き両親室ペースメーカー埋め込み術 9

○構造的心疾患インターベンション:37件

経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA):1

経皮的経静脈的僧帽弁交連裂開術 (PTMC):3

経皮的大動脈弁形成術 (PTAV):1

経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI): 24 (\*循環器病センター成績) 経皮的僧帽弁接合不全修復術 (MitraClip): 5 (\*循環器病センター成績)

○その他 下大静脈フィルター:1